

(確定日) ... 18.03.01 (木)

(改訂日) ... 18.03.19 (月)

(改訂日) ... 18.04.14 (土)

# U-35

## Under 35 Architects exhibition 2019

35歳以下の若手建築家による建築の展覧会 (2019)

### 出展者募集のご案内

#### Participation Overview

「Under 35 Architects exhibition 35歳以下の若手建築家による建築の展覧会」の第10回目の開催に当り、今年も出展者を一般公募いたします。若手建築家としてこれからの活躍を期待される35歳以下の出展候補者を募り、2019年秋に開催致します。

本展では、これからの活躍が期待される若手建築家に発表の機会を与え、これからの建築の可能性を提示し、多くの人に向けた展示・発表を行うことを目的としています。

そして、2015年度より賞の設定を開始しましたとおり、展覧会より優秀な展示作品を1点審査選出し、Under 35 Architects exhibition 2019 Gold Medalを授与致します。昨年度より賞の設定基準を大幅に変更しましたので、賞の位置づけにご期待ください。

募集の詳細は下記に記載いたします。皆さまからのご応募をお待ちしております。

※ 日程や会場等は仮の予定です。

都合により変更することがございますのでご了承ください。

AAF (Art and Architect Festa) is pleased to officially announce the Call for Entries for the eighth annual exhibition, "Under 35 Architects exhibition" that will be held in Autumn 2019. We encourage new generation of Architects to contribute for the future. Thus, all under-35 Architects are given opportunity to participate in this exhibition.

In this exhibition, young architects are given the opportunity to measure their abilities and express their ideas for the future architecture to the society.

Since 2015, one outstanding work during the exhibition will be selected for the "U-35 Gold Medal".

We are looking forward for your application. Please find applications detail in the following.

※ Venue and Schedules are tentative.

Please note that there may be some changes in circumstances.

## 募集要項 Requirements

- ・ [募集要項 Application Guidelines \( PDF \)](#)
- ・ [開催概要 Outline \( PDF \)](#)
- ・ [応募用紙 Entry Form \( PDF \)](#)

※Only available in JAPNESE.

### 【応募資格】

1. 2019年3月末日時点で、35歳以下の独立した建築家。
2. 原則として、大学・大学院（博士課程を除く）もしくは建築設計事務所などの組織に所属せず、独立した設計活動を行っている建築家。（応募者本人が設計事務所の開設者や管理建築士もしくは、創業者や主宰者といたします。）
3. 個人・パートナー・グループの別は問いません。（ただし、パートナー・グループの場合は、代表者を必ず含むものとし、全員が上記の条件を満たすこと）

### 【Eligibility】

1. Applicant must be 35 years old or younger, as of March 31st 2019.
2. Applicant must be independent and does not belong to any institution or organization, such as College/University (except for PhDs/Doctorate Degrees) , or Architectural Firm (except for the founder or representative) .
3. Application may be individual or Group (as long as each member qualifies stated conditions)

### 【応募方法】

必要事項を記入した応募用紙①②（ウェブサイト <http://u35.aaf.ac/> よりダウンロード）と、ポートフォリオ（A4サイズ PDF ファイル / 最大10枚）を添付の上、下記、Eメールアドレスまでお送りください。 [info@aaf.ac](mailto:info@aaf.ac)  
※ Eメールのタイトルに **"U-35 2019 出展応募「氏名」"** とご記載ください。

### 【Submission】

- ・ Entry Form (download from <http://u35.aaf.ac/>)
  - ・ Portfolio (A4 Size / PDF / maximum of 10 pages )  
Please attach the submitting materials and send to [info@aaf.ac](mailto:info@aaf.ac)
- ※ Please indicate "U-35 2019 Entry <Name>" in the Title.

### 【募集期間】

2018年11月1日（木）0:00～2019年2月22日（金）23:59（E-メール必着）

**【Submission Period】**

November 1, 2018（Tuesday）～February 22, 2019（Friday）no later than 23:59 JST

**【選出基準】** [※昨年度より変更あり](#)

来年実施の展覧会に向けての公募は、これまでの約7組全てを公募で募るのではなく、公募（自薦）、指名（他薦）と出展枠を分けるようなプログラムへと変更します。公募はこれまで通り応募による選考により2-3組程度を選出する。指名はアワードを選考するひと世代上の建築家8名と建築史家2名の10名が、それぞれ1組ずつ推薦し、10組の指名のうち、2-3組程度を選出。そしてシード権により、今年度のゴールドメダル授賞者1組、伊東賞受賞者1組が出展されます。

- ※ 出展者募集の変更は、2017年10月21日に、アワードを選考する出展者よりひと世代上の建築家8名と建築史家2名の10名が出席した「10会議」で決定された内容。（2018年・展覧会図録に掲載）
- ※ 上記の変更目的は、公募枠に自薦と指名枠による他薦を折り込み、展覧会の質の向上と複層した出展者らに建築の展覧会を位置づけてもらおうと期待をするものである。
- ※ 指名（他薦）による推薦は、各建築家・建築史家により選考されます。

**【審査方法】**

審査員 倉方俊輔氏による書類審査（履歴書・ポートフォリオ）にて選考の上、必要に応じ面接審査を行い出展者の選出を行います。

**【Evaluation Process】**

All entries (CVs, Portfolios) will be evaluated by the appointed Jury, Shunsuke Kurakata.

We might contact some of the applicants for further interview, if necessary.



倉方俊輔（くらかた・しゅんすけ）建築史家

1971年東京都生まれ。大阪市立大学准教授。主な著書に『大阪建築みる・あ  
るく・かたる』『吉阪隆正とル・コルビュジエ』『伊東忠太建築資料集』など。  
ADAN 機関誌『建築設計』編集長。

**【選出数】**

定めはありませんが、会場規模・構成の都合上、全ての出展者計 7 組程度の選出を行います。

(内訳：公募による選出 2-3 組程度、指名による選出 2-3 組程度、シード権による選出 2 組)

#### 【Exhibitor Number】

Expecting for 5 to 7 sets of Architects depending on the final venue layout.

#### 【シード権による出展者】

U-35 2018 Gold Medal (U35 ゴールドメダル賞) :

U-35 2018 Toyo Ito (伊東賞) :

#### 【Exhibition Grants】

U-35 2018 Gold Medal Prize winner, \_\_\_\_\_

Toyo Ito Prize 2018 winner, \_\_\_\_\_

#### 【出展料】

無償 (主催者負担)

#### 【Exhibition Fee】

No charge on facility / venue / participation

#### 【出展条件】

出展作品の制作費、説明会 (現地)、搬入・搬出、ギャラリー・トーク、シンポジウム時の旅費、その他展示に要する費用は出展者のご負担となりますので、予めご了承ください。

#### 【Conditions】

Each exhibitor is responsible for all production cost, installation, dismantling, loading and unloading, transportation, accommodation and other necessary costs and expenses.

#### 【特典】

1. 本展開催中には、約 1 万人の方々が来場され、一般者を含む多くの方々へ発表する舞台となる。
2. シンポジウムにゲストとしてご登壇される建築家へ、考えや作品が認知される。
3. 建築界における関係者 (ゼネコンや組織設計事務所、メーカーや学生等世代を超えた交流が生れる。)

#### 【Priviledge】

1. Maximize your great exposure during the exhibition. Exhibition expects and welcome about 10,000 visitors from different places and fields.
2. Opportunity to reveal your potentials and get recognized by well-known architect/s in the symposium.
3. Chance to have intuitive network and multiple connections beyond generations in the related fields.

## 【賞】

35歳以下の若手建築家による建築の展覧会ゴールドメダル（略称名：U-35 Gold Medal）

※展覧会の出展作品と出展者に対して、今後の活躍が期待できる最も優秀な若手建築家を1名選出し、GOLD MEDALを授与します。

## 【Prize】

Under 35 Architects exhibition 2019 GOLD MEDAL (Abbrev. U-35 GOLD MEDAL)

※GOLD MEDAL will be awarded to one young architect (or team) for having the most outstanding exhibit work.

ゴールドメダル賞

1. 賞状（シンポジウムにご登壇される、ひと世代上の建築家一同から連名にて）
2. 副賞（展示会場・設置の後、ゴールドメダルが授与されます）
3. 翌年・出展候補者としてのシード権

GOLD MEDAL PRIZE

1. Certificate (signed by all guest architects)
2. Supplementary Prize (Gold Medal, handed after the exhibition)
3. Grant for exhibition candidate for succeeding year

【事前注意事項の取り扱い】※重要（応募前に必ずお読みください）

1. 出展作品は、規定の期間内に展覧会場（うめきたシップホール）に各自が責任を持って搬入・搬出・展示してください。なお、搬入・搬出・展示作業中の事故等に関しては、主催者は責任を負いません。
2. 作品の展示にあたっては、施設の職員と協議し、施設の使用条件を厳守してください。
3. 展覧会会期中の作品警備や取り扱いには万全の注意を払いますが、万が一、災害や不慮の事故により作品が損傷した場合、主催者は責任を負いません。
4. 出展作品の著作権は出展者に帰属しますが、主催者が行う作品の撮影、模写、印刷及び広報に関する写真、情報提供についてはそれを許諾することを条件とします。
5. 出展候補者決定後、並びに展覧会の準備期間中、もしくは展示期間中に、開催スケジュールに従い、提出期限を越え実施に支障を生じた場合は、出展の中止について予告なく協議することがございます。予めご了承ください。
6. 【指名（他薦）】・【公募（自薦）】者共、特にご推薦の上ご応募される際は、開催日程を予めご確認の上、各日程を確保いただきました上でご応募いただきますよう重ねてお願いいたします。各日程は、出展者の映像や図録への収録等も含め、関係者を含め公的にアナウンスしています。
7. また、全ての出展候補者に選ばれました以降に、パートナー様の変更や他の応募者を追加することはできません。予めご確認の上ご応募いただきますよう、お願い申し上げます。
8. 展覧会は、出展者7組の皆さまが主体の展覧会です。毎年開催を継続できていますのも、ご出展者様の自主性と意欲的なご厚意により継続的な開催を重ねてきました。これよりのご出展者様の盛り上がり、秋の開催へ大きな影響を与えていきます。各出展者さまによる広報や告知は、何卒、【事前】にご予定していただき、会期に盛り上がりや注目度が高まりますよう、計画をいただくお願いをさせていただきます。
9. 事務局を担います AAF は、あくまでも本展のプログラムや企画などを事前に仕組みをつくっておりますが、大変恐縮ながらにご出展者様用のアシスタントではありません。あくまでも主体は出展者様であることを、事前にご了承ください。また出展候補者となりました確定以降、事務局 AAF 側に直接、お聞きいただくことはもちろん可能ですが、出展者様同士の交流も深まると思いますので、毎年、シード権でご出展されます受賞者の方を中心に、お尋ねご相談をいただきますよう、お願い申しあげます。
10. 本展は建築家様 1 人による個展ではございません。あくまでもグループ展としたお考えを元に、各展示エリアに隣接されます方同士のご配慮をいただき、展示計画の整合性や事前の打合せを各自でご連絡いただきますよう、お願いを申し上げます。

11. また本展は、商業目的とした展示会ではありません。どうぞ出展者エリアを含め、本展会場内での配布のチラシやカード、名刺等の設置はなさらないよう、お願いを申し上げます。(もちろん常廊され、来場者への積極的なご説明や名刺交換などはご自由に行ってください。)
12. また出展候補者が決定しました時点でお知らせする出展者様によるギャラリートークには、必ず出席するものとし、日程は、出展者様が一同に集まります最初の日に、発表いたします。内容はレクチャー形式によるものです。各出展者様にてノート PC をご持参の上、開催時に会場（ギャラリートーク）内で設置のケーブルなどの状態をご確認いただき、事前に動作確認をいただきますよう、お願い申し上げます。聞き手の方や協働の構造家の方等を当日にご登壇いただくことは構いませんが、ウェブやチラシなどの告知物では、その旨を掲載することができません。あくまでもご出展者様と展示内容が主体でお話しをされますことを、重ねてお願い申し上げます。
13. 各期日をお願いしております提出データについて、図録 出展者ページのデータ作成のご案内と、提出データについて要領書を出展候補者決定と通知と共に送りいたします。できるだけ出展者様のご意向に沿いますが、主催者による責任編集としてください。(事実確認はいたしますが、デザイン変更等の誌面変更は不可)
14. 出展者説明会にて決定させていただき、各出展者様の決定・展示エリア内に、どのように作品を展示されるか、展示構成図を平面図 1/20、展開図 1/20、及び仕様書（仕上げ、素材）をお送りください。  
※出展候補者になりました際に、添付にて本設の図面一式をお送りいたします。
15. またこれに合わせて会場全体模型（1/50）に挿入するため、1/50 模型を提出ください。  
毎年会期中に、展覧会会場全体の模型（1/50）を設置しております。  
みなさまの「展示エリア内の模型」を 1/50 のサイズで、主催者の住所までご郵送いただきますよう、お願い申し上げます。なお、輸送中に破損する恐れのないように梱包いただきますよう、何卒よろしく願いいたします。

#### 【応募・問合せ先】

特定非営利活動法人（NPO 法人）

アートアンドアーキテクトフェスタ®AAF

〒550-0015 大阪市西区南堀江 2 丁目 9 番 14 号

E メール [info@aaf.ac](mailto:info@aaf.ac)

※ ご質問、お問合せは上記 E メールにてお問合せください。

※ 電話によるお問合せは基本的にお受けできません。あしからずご了承ください。

※ 詳細はウェブをご覧ください。 <http://u35.aaf.ac/>

#### 【Contact Us】

Non-Profit Organization (NPO) Art and Architect Festa (AAF)

2-9-14 MinamiHorie, Nishiku, Osaka, Japan 550-0015

E-mail [info@aaf.ac](mailto:info@aaf.ac)

※ Please direct all inquiries via E-mail in English or Japanese.